

報告第16号

五島風力発電株式会社の経営状況について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により別紙
のとおり五島風力発電株式会社の経営状況を報告する。

令和元年9月4日提出

五島市長 野口市太郎

経 営 状 況 報 告 書

令和元年 9 月

五島風力発電株式会社

1. 会社概要

社名	五島風力発電株式会社
設立	平成12年11月15日
経営理念	地域資源を利用して新エネルギーの開発を推進し社会に貢献する。
業務内容	風力によって自家発電した電力の販売及びそれに付帯する一切の業務
資本金	10,000千円
本社	長崎県五島市富江町富江165番地

出資者及び出資内訳

五島市	5,100,000円(51.0%)
(株)真崎商店	1,950,000円(19.5%)
三菱重工(株)	1,450,000円(14.5%)
(有)イー・ウインド	1,000,000円(10.0%)
(株)十八銀行	500,000円(5.0%)

役員

代表取締役	橋本 武敏 ((有)イー・ウインド 代表取締役)
取締役	野口 市太郎 (五島市長)
取締役	中野 常夫 (三菱重工(株) パワードメイン再生可能エネルギー事業部風車担当部長)
取締役	真崎 一郎 ((株)真崎商店 代表取締役)
取締役	田上 秀人 ((有)イー・ウインド 専務取締役)
監査役	古瀬 靖士 (古瀬靖士税理士事務所)
監査役	立石 光徳 (五島市商工会議所 会長)

風力発電設置場所	長崎県五島市富江町長峰字前尾1971番13及び字イタビサコ2521番10
設備の内容	三菱重工業製MWT-600・2基 タワー・高さ50m 翼・直径45mの3枚羽
取引銀行	株式会社 十八銀行
販売先	九州電力株式会社へ全発電量売却
総投資額	約3億円(うちNEDO補助金 1億3千5百万円) ※ NEDO・・・新エネルギー・産業技術総合開発機構

2. 平成30年度業務報告

第19期事業年度（平成30年度）における主な業務を報告します。

1号機は、故障により平成30年10月から運転を停止しました。故障の原因は、ナセル内高速軸ブレーキパッドの破損によるものでした。取締役会にて、修理、復旧は費用対効果が無いと判断し、修理等は行わず、市内風車メンテナンス人材の教育、訓練施設として活用することにしました。

2号機は、平成31年1月に落雷によりブレードが損傷しました。復旧作業を行い、平成31年4月から運転を再開しました。

このような状況でしたが、今期は、売上高（売電収入）22.9百万円（前期比プラス3.9百万円）、経常利益△7.0百万円（前期比プラス5.4百万円）でした。

また、特別利益として、1号機の故障による受取保険金21.0百万円が計上され、税引前当期純利益が14.0百万円（前期比プラス26.4百万円）となり、財務状況が大きく改善される結果となりました。

以上

3. 貸借対照表

貸 借 対 照 表

五島風力発電 株式会社

平成31年 3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	15,304,907	【流動負債】	7,487,894
現金・預金	15,304,907	未払金	6,428,180
		未払法人税等	435,700
		未払消費税	549,300
【固定資産】	28,211,953	預り金	74,714
【有形固定資産】	25,239,809	【固定負債】	17,739,370
機械装置	25,239,809	長期借入金	15,010,000
【無形固定資産】	507,144	長期未払金	2,729,370
電話加入権	430,477	負債の部合計	25,227,264
ソフトウェア	76,667	純資産の部	
【投資その他の資産】	2,465,000	【株主資本】	18,289,596
保険積立金	2,465,000	資本金	10,000,000
		利益剰余金	8,289,596
		その他利益剰余金	8,289,596
		繰越利益剰余金	8,289,596
		(うち当期純損益金額)	13,478,883
		純資産の部合計	18,289,596
資産の部合計	43,516,860	負債・純資産合計	43,516,860

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1、固定資産の減価償却方法

有形固定資産……定額法

2、その他の事項

消費税等の会計処理……税抜方式

貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 150,315,070円

4. 財産目録

財 産 目 録

平成31年 3月31日現在

(単位：円)

区 分 財産名	規 格	数 量	単 価	金 額	取得年月日	耐用年数	保管場所	備 考
(イ)事業用備品								
風車本体	MWT-600	2台	72,500,000	145,000,000	平成14年3月20日	17年	五島市富江町長峰	
電気設備		1式	15,000,000	15,000,000	平成14年3月20日	17年	五島市富江町長峰	
記録計測装置		1式	13,000,000	13,000,000	平成14年3月20日	17年	五島市富江町長峰	
送電線路		1式	18,000,000	18,000,000	平成14年3月20日	17年	五島市富江町長峰	
接地設備		1式	4,000,000	4,000,000	平成14年3月20日	17年	五島市富江町長峰	
埋設線		1式	2,000,000	2,000,000	平成14年3月20日	17年	五島市富江町長峰	
風車本体基礎		1式	28,907,151	28,907,151	平成14年2月12日	20年以上	五島市富江町長峰	
電気設備基礎		1式	798,917	798,917	平成14年2月12日	20年以上	五島市富江町長峰	
ソフトウェア		1式	2,300,000	2,300,000	平成26年6月30日	5年	五島市富江町長峰	

5. 損益計算書

損 益 計 算 書

五島風力発電 株式会社

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

(単位：円)

経常損益の部		
【営業損益の部】		
【営業収益】		
【売上高】		
売 上 高	22,893,517	
売 上 高 合 計		22,893,517
売 上 総 利 益		22,893,517
【販売費及び一般管理費】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		29,617,208
営 業 損 失		6,723,691
【営業外損益の部】		
【営業外収益】		
受 取 利 息	104	
雑 収 入	194,069	
営 業 外 収 益 合 計		194,173
【営業外費用】		
支 払 利 息	512,813	
営 業 外 費 用 合 計		512,813
経 常 損 失 金 額		7,042,331
【特別利益】		
受 取 保 険 金	21,080,129	
特 別 利 益 合 計		21,080,129
税 引 前 当 期 純 利 益		14,037,798
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		558,915
当 期 純 利 益		13,478,883

6. 期末利益処分計算書

期 末 利 益 処 分 計 算 書

(平成31年 3月31日)

1. 当年度利益 ￥13,478,883 —

2. 当年度末処分利益 ￥8,289,596 —

これを次の通り処分します。

1. 未処分利益 ￥8,289,596 —

2. 次期繰越利益 ￥8,289,596 —

7. 令和元年度事業計画

第20期（令和元年度）事業計画の概要を報告します。

- (1) 業績予測については、風車1基のみの運転となるため、売上高が18.0百万円、経常利益△5.0百万円（今期比プラス2.0百万円）の減収減益が予想されますが、2号機落雷ブレード損傷に対する損害保険金及び利益補償金の合計11.0百万円を特別利益として計上し、税引前当期純利益は5.9百万円となる見込みです。
- (2) 資金繰りについては、平成31年4月1日現在の運転資金（流動資産－流動負債）は7.8百万円、令和元年度末には3.4百万円に減少する予定です。ただし、今期中に借入金及び未払金の支払が完了し、新たな借入れ等は予定していません。
- (3) 安全及び設備保全については、近年の風車事故件数の増加により、単機500kw以上の風車を対象に公共の安全の確保のための定期安全管理審査制度が平成29年度から始まっています。この制度は、風車事故を防止するため風車の保守メンテナンスを強化し、発電事業者自ら検査要領書を作成し、その要領書通りに記録をとり3年毎に国が認定した審査機関に、記録が適正か審査を受けるという制度です。
令和元年度中に審査を受けるために、書類の作成、管理、検査員の教育訓練など体制の強化など準備を進めていきます。
- (4) 稼働率の向上及び設備の長寿命化については、月次点検、年次点検、24時間遠隔監視を令和元年度も引き続き実施します。

以上

8. 令和元年度損益予測計算書

損 益 予 測 計 算 書

五島風力発電 株式会社

自 平成31年 4月 1日 至 令和2年 3月31日

(単位：千円)

経常損益の部		
[営業損益の部]		
[売上高] 売電収入	18,000	
[売上原価]		0
[売上総利益]		18,000
[営業費用] (販売費及び一般管理費計)		22,836
営業利益		△ 4,836
[営業外損益の部]		
[営業外収益]		
受取利息	0	
営業外収益合計		0
[営業外費用]		
支払利息	225	
営業外費用合計		225
経常利益		△ 5,061
特別損益の部		
[特別利益]		
受取保険金	11,000	
特別利益合計		11,000
[特別損失]		
税引前当期純利益		5,939
法人住民税及び事業税		1,782
当期純利益		4,157
前期繰越損益		8,289
当期利益剰余金		12,446